

教育プログラム 到達レベル

ステップ	対象	目標	到達レベル	プログラム
ステップ I	新人	<p>職場への早期適応と看護実践者としての基本的能力を習得する</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 専門職としての基本的態度を身に付け行動できる</li> <li>2 疾患及び、病態の理解を深め、患者の問題点を挙げる事ができる</li> <li>3 基本的な看護実践に必要な知識技術を理解し、安全・確実に実施できる</li> <li>4 記録・データ等から患者に必要な情報を収集する事ができ、情報を整理する事ができる</li> <li>5 患者の問題点を見出し、リーダーナースに適切に報告できる</li> <li>6 急変時の知識・技術を習得し、実際の場面に対応できる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 入職時オリエンテーション (表 1)</li> <li>2 病棟オリエンテーション (表 2)</li> <li>3 他部署体験 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内視鏡見学</li> <li>・手術室見学</li> </ul> </li> <li>4 書類による技術チェック・振り返り <ul style="list-style-type: none"> <li>・実技チェック表</li> <li>・本日の出来事と結果</li> <li>・受け持ち患者の情報 A・B・C・D</li> <li>・振り返り(今週・今月・期間)</li> </ul> </li> <li>5 院内勉強会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策・褥創対策・安全対策他</li> <li>・医療機器・業者による説明会</li> <li>・院長副院長による勉強会</li> </ul> </li> <li>5 院外研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車同乗体験</li> <li>・本所防災館体験・消防署訓練見学</li> <li>・ナースプラザ・看護協会研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>急変時の看護・心電図の読み方</li> <li>看護観察・バイタルサイン</li> <li>エンゼルケア</li> <li>口腔ケア・スキンケア</li> <li>摂食嚥下障害の看護</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol>
ステップ II	入職2〜3年目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護実践者の基本的能力を基盤とし、患者個々の状態に応じ、対応実践できる能力を養う</li> <li>2 看護実践者として、個別性を重視した看護の提供ができる</li> <li>3 先輩ナースとして、後輩の育成に参加できる</li> <li>4 リーダーナースとして、病棟全体を把握し、スタッフに指示を出せる。又、他部署との連携がとれる</li> <li>5 院内研究に参加する</li> <li>6 自己啓発をし、成長する</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護過程を踏まえた個別的ケアができる</li> <li>2 患者に必要な情報を目的を持って収集する事ができる</li> <li>3 患者の自立・継続看護に向け、患者家族に適切な指導ができる</li> <li>4 退院後の生活を考え、状況にに適したアドバイスができる</li> <li>5 後輩の育成を通し、自己を振り返り成長する事ができる</li> <li>6 チームプリセプターのプログラムにのっとり、後輩の育成ができる</li> <li>7 リーダーナースの役割と責任を果たせる</li> <li>8 院内研究に取り組み、まとめる事ができる</li> <li>9 常に自己を振り返り、自分を理解し、成長できる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 院内勉強会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策・褥創対策・安全対策他</li> <li>・医療機器・業者による説明会</li> <li>・院長副院長による勉強会</li> </ul> </li> <li>2 院外研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナースプラザ・看護協会他 <ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全とリスクマネジメント</li> <li>コーチング・アサーション</li> <li>チームリーダー研修</li> <li>院内教育・新人指導・プリセプター</li> <li>クレーム対応</li> <li>医療訴訟と看護記録</li> <li>褥創対策</li> <li>災害看護</li> <li>人工呼吸器装着患者の看護</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol>

ステップ III	4年目以降	<p>I 病院・看護部の理念に沿った行動ができる</p> <p>2 患者を取り巻く家族や社会福祉を理解 看護の継続に責任を持つ</p> <p>3 自己の看護観を明らかにし発展させる</p>	<p>1 組織の一員である事を自覚し、病院 サイドでの考え方で行動できる</p> <p>2 患者背景を理解し、パラメディカルと 連携をとり、退院後の生活まで考えて 行動ができる</p> <p>3 自己を振り返り、問題点を明らかにし、 自ら発展する事ができる</p>	<p>1 院内勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策・褥創対策・安全対策他</li> <li>・医療機器・業者による説明会</li> <li>・院長副院長による勉強会</li> </ul> <p>2 院外研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナースプラザ・看護協会他</li> <li>看護管理の基本</li> <li>退院調整</li> <li>コーチング・アサーション</li> <li>院内教育・新人指導・プリセプター</li> <li>クレーム対応</li> </ul>
ステップ IV	主任・師長	<p>1 管理職としての自覚を持ち行動する</p>	<p>1 病院・看護部の理念・ビジョンを理解し 行動できる</p> <p>2 所属部署の問題点を挙げ、改善策を 遂行できる</p> <p>3 スタッフの能力を見極め、適切に指導 できる</p> <p>4 所属部署の状況を把握し、的確に 指示が出せる</p> <p>5 他部署と良質な関係を築き、連携を とる事ができる</p> <p>6 病院経営に参画できる</p> <p>7 他施設との病病連携・病診連携 看看連携がとれる</p>	<p>1 院内勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策・褥創対策・安全対策他</li> <li>・医療機器・業者による説明会</li> <li>・院長副院長による勉強会</li> </ul> <p>2 院外研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナースプラザ・看護協会他</li> <li>管理者の為の人材育成</li> <li>医療安全管理者研修</li> <li>感染管理セミナー</li> <li>看護師の為のストレスマネジメント</li> <li>看護職のメンタルヘルス</li> <li>ワークライフバランス</li> </ul>